

事後評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成25年7月22日(月)

研究課題	装身具向け貴金属合金の開発に関する研究	
研究期間	平成23年度～24年度	
	評価項目	平均点
	1 研究課題選定の妥当性	4.0
	2 目標の達成度	4.2
	3 研究成果の活用及び実用化の可能性	3.6
	4 今後の発展性	4.0
	5 総合評点	4.0
<p>装身具に適した特性を持った貴金属合金の開発にあたり、虫歯治療の詰め物にも使用され、金属アレルギーも起こりにくく、比較的安価なパラジウムを主体に、2種類の金属を独自の配分で加え、耐食性や硬度、輝度など、プラチナと同レベルの性能をもつ、宝飾用のパラジウム合金を開発することに成功、また知的所有権の確保ができていることは、研究の目的が達成されたものと判断される。新しい感覚の貴金属装飾材料として活用されることが期待される。</p> <p>今後は、県内の宝飾業界への普及ができるよう、生産現場からの意見を参考にしながら、実用化に向けた検討が必要である。</p>		